

# 初筆 鮮やかに 新春書初め大会

新春恒例の書初め大会が1月4日に開催され、町内の小中学生37人が筆さばきを披露しました。入賞者は次のとおりです。

- ▶**町長賞**  
大槻 武史(瑞穂小5年)
- ▶**教育長賞**  
山縣 美紅(増穂中1年)
- ▶**青少年相談員連絡協議会長賞**  
大槻 佳代(瑞穂小3年)
- ▶**特別賞**  
山田 祐希(大網小4年)  
森川 愛弓(大網中1年)



- ▶**相談員賞**  
長谷川 真子(白里小3年)  
大石 桃香(瑞穂小4年)  
山縣 俊亮(増穂北小5年)  
富塚 りさ(増穂小6年)  
合田 隼人(増穂中2年)

**入選作品展示期間**  
・2月6日(金)~9日(月)  
中央公民館1階ロビー  
・2月10日(火)~20日(金)  
役場1階ロビー(平日のみ)

# ま ち の 出来事

## 若さと情熱で羽ばたけ 成人式



大人の仲間入りをした町内695人の門出を祝い1月11日に成人式が行われ、会場と

なつた大網白里アリーナには、晴れ着やスーツなどで着飾った新成人が、喜びを共にしました。式典には新成人をはじめ、多くの来賓や恩師、保護者が参列。その席上で堀内町長は「大人としての誠実さと柔軟な発想、熱い情熱を持っていけば、いかなる困難にも負けず、混迷する時代を乗り越えていけるでしょう」と厳しい社会に飛び込む新成人へのあいさつを述べ、来賓や恩師の方々からもお祝いの言葉が述べられました。

また、新成人を代表して市川由美子さんと工藤遼太郎さんの2人が、20歳の決意を披露。「人と人とのつながりの大切さを再確認し、いかに人と社会に貢献していくかが、わたしたちの課題。今日この喜びを胸に名実ともに成人となります」と声高らかに宣言しました。

## 平成22年成人式の 実行委員を募集

来年1月に実施される成人式の企画・運営に参加してくれる新成人を募集します。対象は平成22年4月1日生まれで本町の成人式に参加予定の方。内容：成人式のイベントの企画・式典当日の運営。申込：大網白里生涯学習課。電話：03380(70)3380

## 満面の笑みでお客様を出迎え チャレンジショップ大網笑店



これまで2つの県立高校が手を携え行われてきた「大網笑店」でしたが、今回からは県立高校再編に伴い誕生した県立大網高等学校による初めての開店。心配をよそに、初日の開店間近には200人近い買い物客が押し寄せました。店内には、生徒たちが丹精

吹き出しの豚汁やおにぎりが振る舞われ、参加者は思わずほおを緩ませていました。



店頭と並ぶ新鮮な野菜

込めて育てた大根やキャベツなどの新鮮野菜やジャムなどの加工食品、地元で仕入れたみりん干しなどの水産加工品等が陳列。元気な売り声とともに商品も次から次へと飛びように売れ、生徒たちは対応に追われました。また、町ふるさと産品育成協議会による梅味噌ドレッシングや混ぜ御飯のもとなどのふるさと産品試食販売や商工会女性部による豚汁の無料配布も行われ、商店街は大きな賑わいを見せました。開店にあたり萱生富二雄商工会長は、「先輩たちに恥じないよう頑張ってください。また、思いやりと知恵を持ち、汗を流して町の発展のためにも素晴らしい人間になってほしい」と語り、来賓として訪れた堀内町長も、「このチャレンジショップ大網笑店での経験を将来に生かしてほしい」と生徒たちの輝かしい将来を見据え、語りました。

## 災害に備え近所の力を強化 汐浜防災部会が避難訓練

汐浜防災部会の避難訓練が12月7日に行われ、地元住民、消防団など168人が参加しました。まずバケツリレーを實踐し、水を入れたバケツを手渡しでつなぎ、班ごとに速さを競い合いました。火災への対処など、災害が発生したとの想定で、住民はそれぞれ自宅から避難を開始。津波注意標識などを確認しながら、避難場所に指定されている諏訪神社に集まりました。



▶バケツリレーを實踐する参加者

このほか、南消防署副署長による地震時の対応についての説明や女性消防団員の指導による水消火器を使った初期消火訓練、火災警報器の展示も同時に開催。集まった人たちは1つずつ熱心に見て回りました。訓練の最後に、金坂英雄部会長は「今回は、要援護者の確認がよくできた。これから訓練を続け、町に誇れる防災部会にしたい」と決意を込めてあいさつ。また、内田副町長は「実際に災害が起きたとき、どう行動するのかをイメージするのが大切。今日の訓練内容や、家族間の連絡方法などを家に帰ってからよく話し合ってください」と締めくくりました。訓練終了後には、

## 日々の努力で実感 いきいき教室(口腔)

町では、65歳以上で「介護予防のための生活機能評価」の結果、口腔機能低下により教室へ通うことが妥当と判定された方を対象に、いきいき教室(口腔)を開催しています。本年度の受け付けはすでに終了していますが、参加者からは「夜の口の渇きがなくなった」、「体の調子が良くなった」などと、喜ばしい報告が寄せられています。



▶歯科衛生士によるミニ講座の様子

この教室では、歯科医師と歯科衛生士の個別の機能チェック・相談、染めだしを行っての正しい口腔ケア、成果を確かめるための機能チェック

を3回の講座で実施。また、毎回だ液を出しやすくするためのマッサージや舌や口の体操、早口言葉などのほか、楽しく口の機能を高めるためのゲームも行ったりします。もちろん毎日行ってもらう口の体操の宿題も。担当する町歯科衛生士は、「年をとったからと諦めず、お口の機能を維持・向上させるために努力すれば変わるのだと実感してほしい。来年度も開催していく予定なので、対象の方はぜひ参加してほしい」と呼び掛けていました。いきいき教室(口腔)の問い合わせは健康介護課高齢者支援班。電話：03332(70)0332